

通関士試験科目の一部免除申請の方法

1. 「通関士試験科目の一部免除通知書」をお持ちの方

- 「通関士試験受験願書」及び「受験票」と共に、「通関士試験科目の一部免除通知書」の写しを提出してください。

「通関士試験科目の一部免除通知書」について

- 「通関士試験科目の一部免除通知書」とは、試験科目の一部免除申請を行った後、税関から発行される通知書のことです。
- 通知書をお持ちでない方は、「2. 初めて試験科目の一部免除申請を行う方」の手続きをご覧ください。
- 通関士試験科目の一部免除通知書に有効期限はありません。

2. 初めて試験科目の一部免除申請を行う方

- 「通関士試験受験願書」及び「受験票」と共に、「通関士試験科目の一部免除申請書」(B-1210)及び「証明書」(B-1215)を提出してください。
- 「通関士試験科目の一部免除申請書」は、受験者本人が作成します。
- 「通関士試験科目の一部免除申請書」の「通関業法第23条第2項第1号及び第2号に掲げる科目」の欄は、通関業務に従事した期間が通算して15年以上になる者が対象(2科目免除)です。
- 「通関士試験科目の一部免除申請書」の「通関業法第23条第2項第2号に掲げる科目」の欄は、通関業務に従事した期間が通算して5年以上になる者が対象(1科目免除)です。
- 「証明書」は受験者が従業していた通関業者・官庁等が作成します。(受験者本人が作成は不可)押印は不要です。受験者の転職等により複数の通関業者での従業歴があり、それらの通関業務に従事した期間を通算して免除を受ける場合は、複数の証明書が必要となります。
- 試験科目の一部免除申請の後、返信用封筒にて受験票A片と「通関士試験科目の一部免除通知書」が受験者へ郵送されます。

